

令和7年10月16日
都市整備部都市計画課

江東区都市計画マスタープラン2022の成果管理について

令和4年3月に策定した「江東区都市計画マスタープラン2022」では、重要なまちづくり政策として重点戦略を掲げるとともに、プランの着実な推進に向けて成果管理を行うこととしている。令和6年度の実績及び今後の予定等は以下のとおりである。

1 重点戦略の進捗

重点戦略1：「地下鉄8号線延伸のまちづくり」

- 「江東区地下鉄8号線沿線まちづくり構想」策定（令和5年3月）
- 「（仮称）枝川駅周辺地区まちづくり方針」策定（令和7年3月）
- 「（仮称）千石駅周辺地区まちづくり方針」策定予定（令和8年3月）
- 「住吉駅周辺地区まちづくり方針」策定予定（令和9年3月）

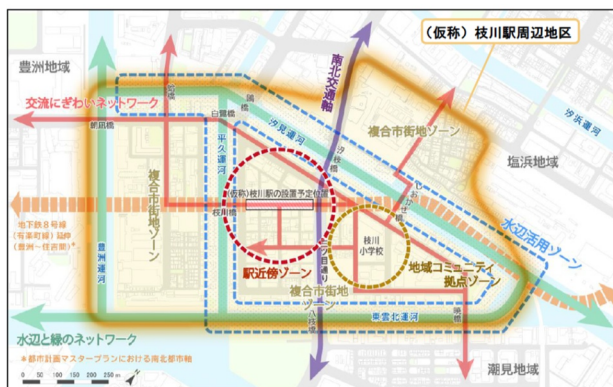
重点戦略2：「未来の臨海部のまちづくり」

- 「江東区臨海部都市交通ビジョン」策定（令和6年3月）
- 臨海部を含む区全域を対象とした移動手段のマスタープランである「江東区地域公共交通計画」を策定予定（令和9年3月）

重点戦略3：「浸水対応型のまちづくり」

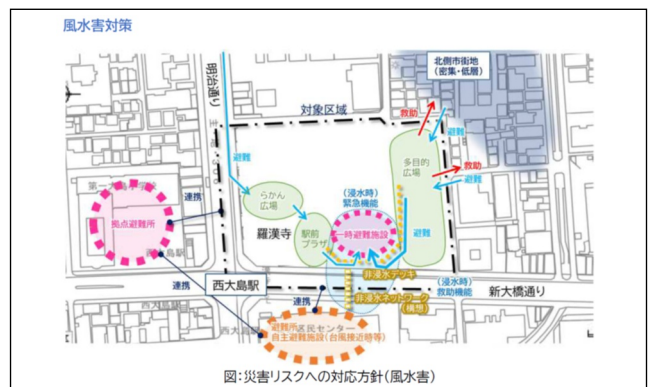
- 「江東区浸水対応型まちづくりビジョン」策定（令和6年3月）
 - 「西大島地域まちづくり方針【増補版】」改定（令和7年7月）※
 - 「大島三丁目駅前エリアまちづくり方針」策定（同上）※
 - 「（仮称）大島四丁目エリアまちづくり方針」策定予定（令和7年10月）※
- ※各まちづくり方針において、浸水対応の方針を盛り込む。

重点戦略1：地下鉄8号線延伸のまちづくり



「（仮称）枝川駅周辺地区まちづくり方針」より抜粋

重点戦略3：浸水対応型まちづくり



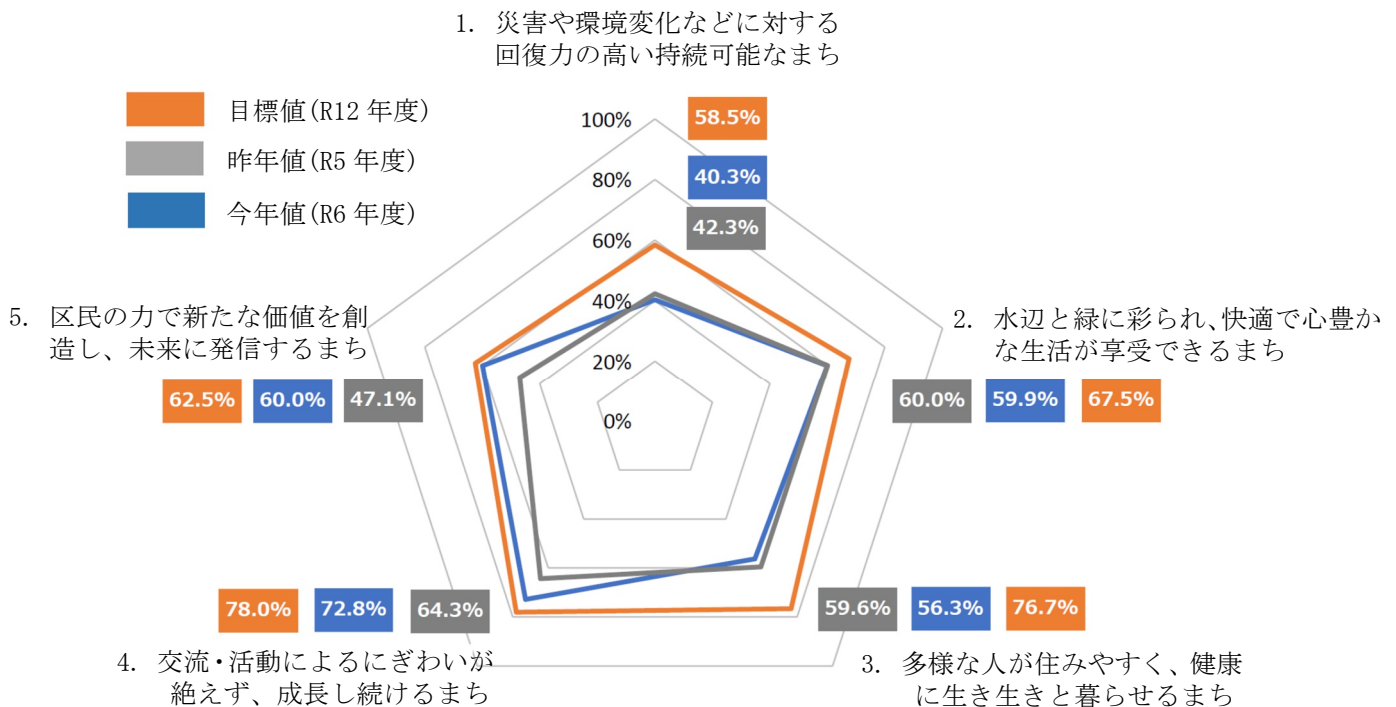
「（仮称）大島三丁目駅前エリアまちづくり方針(案)」より抜粋

2 成果管理

以下①から③について指標を設定し、まちづくりの進捗度合いを定量的・定性的にモニタリングする。

① 総合的なまちづくり

〈表1〉〈図1〉で示すとおり、4、5の項目において、前年度の満足度を上回る結果となったが、これは地下鉄8号線延伸への期待の高まりが影響していると考えられる。一方で、1～3の項目では、前年度の満足度を下回る結果となった。激甚・頻発化する災害リスクを踏まえ、引き続き民間建築物の耐震化や重点戦略である浸水対応型まちづくり等の推進が重要である。また、区民アンケート調査において、災害に強いまちづくりに向けた防災対策の一層の充実が求められていることから、過去の震災の教訓を踏まえ、被災時の状況や復興後のまちの姿を地域住民と事前に共有する取組みについて検討していく。



〈図1〉

【満足度（アウトカム指標）】

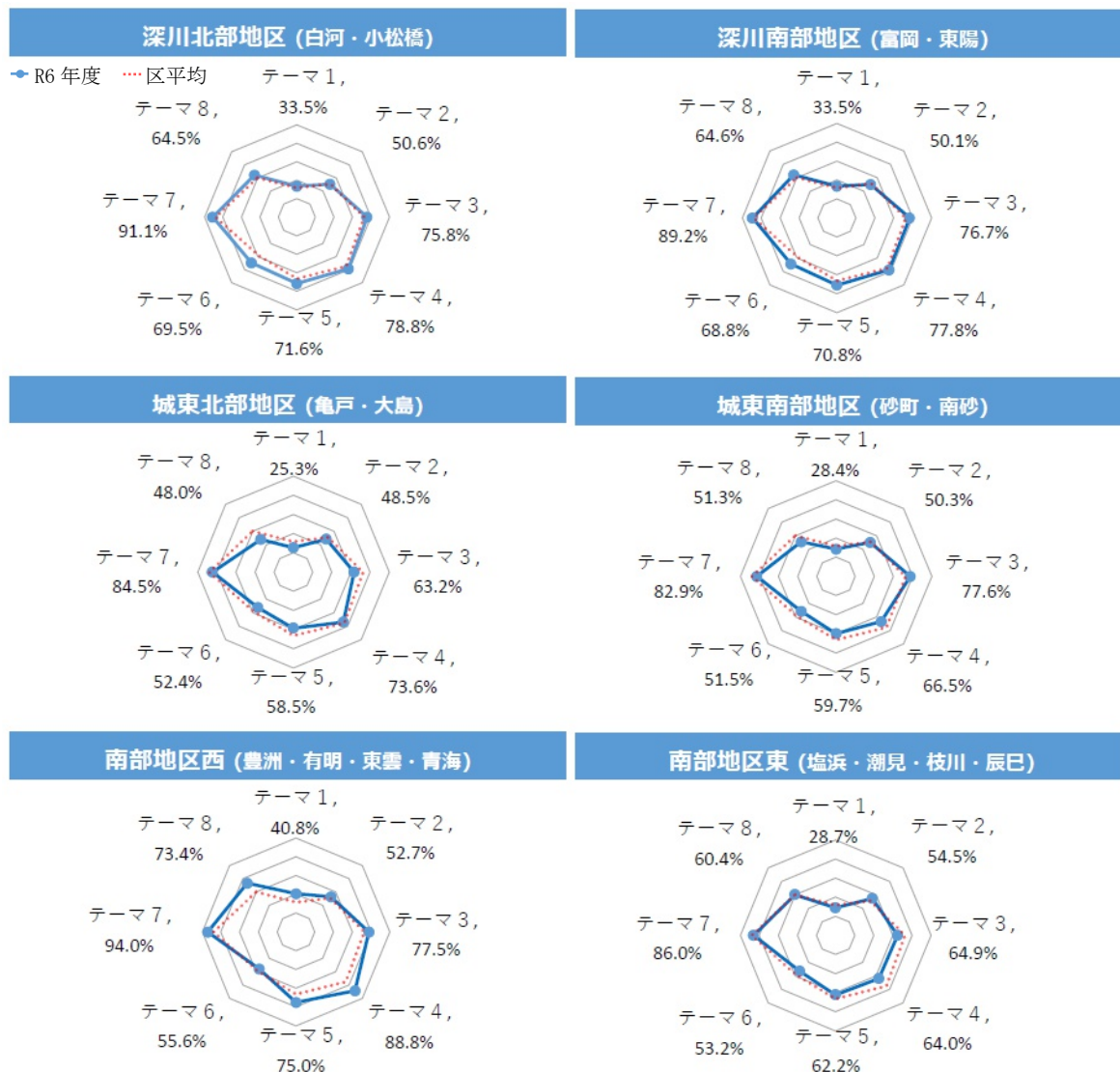
〈表1〉

目指すべき江東区のまちの姿	満足度※		
	R5年度	R6年度	目標値
1 災害や環境変化などに対する回復力の高い持続可能なまち	42.3%	40.3%	58.5%
2 水辺と緑に彩られ、快適で心豊かな生活が享受できるまち	60.0%	59.9%	67.5%
3 多様な人が住みやすく、健康に生き生きと暮らせるまち	59.6%	56.3%	76.7%
4 交流・活動によるにぎわいが絶えず、成長し続けるまち	64.3%	72.8%	78.0%
5 区民の力で新たな価値を創造し、未来に発信するまち	47.1%	60.0%	62.5%

※江東区長期計画区民アンケート調査を基に算出。目標値の年次は令和13年度。

② テーマ別まちづくり

〈表 2〉〈図 2〉で示すとおり、7 の満足度は前年度の満足度を大幅に上回り、3、7、8 以外項目において、前年度の満足度を下回る結果となった。特に 1 の満足度については、「総合的なまちづくり」と同様の傾向が見られ、安全・安心への関心の高まりが伺える。



〈図 2〉

テーマ別の部門	満足度※ (地区平均)	
	R5 年度	R6 年度
1 緊急時にも適時的確に対応する回復力の高い都市 (安全・安心部門)	32.7%	31.7%
2 地球温暖化対策に対応する脱炭素都市 (環境部門)	51.3%	51.1%
3 水辺と緑に彩られ交流と活力を生み出す快適な都市 (水辺と緑部門)	72.3%	72.6%
4 多様な暮らしを育む定住都市 (住環境部門)	76.0%	74.9%
5 誰でも生き生きと暮らせる健康都市 (健康・スポーツ部門)	67.2%	66.3%
6 快適に移動できるネットワーク都市 (道路・交通部門)	59.2%	58.5%
7 自然や文化、地域資源が織りなす観光・交流都市 (観光・交流部門)	68.8%	88.0%
8 みんなでつくる美しいまち並みを次世代に継承する都市 (景観部門)	58.4%	60.4%

※江東区長期計画区民アンケート調査を基に算出

〈表 2〉

8部門の各代表指標（16項目）〈表3〉は、令和5年度から6年度にかけて、11項目が目標値に向けて数値は向上しており、1項目は横ばいであるが概ね計画どおりとなっている。

【事業活動量（アウトプット指標）】

〈表3〉

テーマ別の部門	代表指標	単位			
		単位	R5 年度	R6 年度	目標値※
1 安全・安心	・特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化率	%	88.0	88.7	92
	・再生可能エネルギー設備を導入した区施設数	施設	78	82	84
	・災害協力隊の数	隊	330	329	337
2 環境	・区内の年間二酸化炭素排出量	千t-CO2	2,718 (3年度)	2,662 (4年度)	1,680
	・再生可能エネルギー設備を導入した区施設数(再掲)	施設	78	82	84
	・地球温暖化防止設備導入助成申請件数	件	961	1,319	1,680
3 水辺と緑	・水辺・潮風の散歩道整備率	%	61.17	61.62	65.11
	・緑被率	%	—	—	22%
4 住環境	・区営住宅の整備・改修の団地数	か所	3/13	4/13	13/13
	・マンション計画修繕調査支援事業の助成件数	件	40	19	45
5 健康・スポーツ	・区立スポーツ施設の利用者数	千人	1,767	1,744	2,550
	・公園面積	ha	515.1	578.7	550
6 道路・交通	・主要生活道路（区道）の改修面積	m ²	30,888	30,413	30,000 m ² /年
	・細街路拡幅整備延長	m	22,179	22,922	28,179
7 観光・交流	・観光ガイドの案内者数	人	2,088	2,746	3,000
	・「江東ブランド」認定企業数	社	57	58	83
8 景観	・水辺・潮風の散歩道整備率(再掲)	%	61.17	61.62	65.11
	・無電柱化延長（区道）	m	24,023	24,846	26,940

※目標値の年次は指標ごとに異なる
※長計の指標に準ずる

③ まちづくり方針等の策定

将来都市構造における22の拠点等について、まちづくり方針等の策定を目指すこととしており、社会情勢の動向を踏まえ、大規模な土地利用転換等を契機としたまちづくりを引続き検討するとともに、地域住民の意識啓発や勉強会等の取り組みを支援するなど、まちづくりの機運を醸成していく。

【まちづくり方針の策定状況】※令和7年7月末時点

〈表4〉

まちづくり方針 一覧		策定数
策定済み	潮見地区まちづくり方針（H20）	7
	北砂三・四・五丁目地区まちづくり方針（H30）	
	西大島地域まちづくり方針（H30）	
	亀戸六丁目まちづくり方針（H30）	
	新砂二・三丁目地区まちづくり方針（R2）	
	（仮称）枝川駅周辺地区まちづくり方針（R6）	
	大島三丁目駅前エリアまちづくり方針（R7）	
今後予定	（仮称）大島四丁目エリアまちづくり方針（R7）	3
	（仮称）千石駅周辺地区まちづくり方針（R7）	
	住吉駅周辺地区まちづくり方針（R8）	